

# 令和2年度 補助金等評価結果

## 1 評価結果

判定区分	件数	割合 (%)
継続	1	16.7
改善	4	66.6
減額	1	16.7
廃止	0	—
合計	6	100.0

## 2 評価方法

評価委員14名が2班に分かれて、去る10月27日、30日に補助事業の担当所属に対するヒアリングを行い、評価を実施しました。

## 3 今後の留意点

評価作業にあたり、委員より補助金全般に共通した意見が出されました。集約した結果は、次のとおりです。

### (1) 補助金の終期の設定について

終期設定のない補助金が多数見受けられましたので、補助事業の目的を達成するための目標や指標を設け効果の検証を行い、また、終期を迎えた補助金については、事業効果や必要性等の観点から見直しを行い、補助金の廃止も含め、改めて検討する必要があります。

### (2) 交付額の積算と補助対象経費について

補助交付額については、積算根拠を明確にして、毎年、精査する必要があります。

補助対象等については、事業との関連性が薄い経費が含まれていないか、担当所属で再確認する必要があります。

### (3) 事務局について

一部、担当所属が交付団体の事務局となっていました。交付団体の自立を促し、また、多様化する業務を限られた職員で対応するため、可能な限り交付団体へ事務局を移行していく必要があります。

(4) 実績報告及び収支繰越について

事業完了後に、担当所属に対して実績報告がなされるところですが、補助対象経費に対して、補助金が過剰になっていないか、また、収支繰越金が発生する団体においては、補助金の精算償還の必要がないかを確認する必要があります。

(5) 補助金等の適正化についての再周知

全般的事項である(1)～(4)について、今回評価の対象となった事業に限らず、補助事業を所管する全所属において「えびの市補助金等の適正化に関する指針」を再確認する必要があります。

なお、評価作業で「継続」と判定された事業についても、評価委員より個別に見直し・改善を求める意見があったことから、現行のまま継続とせず、補助金等評価結果の内容を確認のうえ、見直し・改善を検討する必要があります。

以上